

令和2事業年度
(第17期)

決 算 報 告 書

自：令和 2年 4月 1日

至：令和 3年 3月31日

国立大学法人埼玉大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人 埼玉大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,123	6,288	164	(注1)
うち補正予算による追加	-	52	52	
施設整備費補助金	219	393	173	(注2)
うち補正予算による追加	-	37	37	
補助金等収入	351	509	157	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	28	28	-	
自己収入	4,846	4,827	△ 18	
授業料、入学料及び検定料収入	4,611	4,567	△ 44	(注4)
雑収入	234	259	25	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,016	2,178	1,162	(注6)
引当金取崩	-	0	△ 0	
目的積立金取崩	12	45	32	(注7)
計	12,598	14,270	1,672	
支出				
業務費	10,963	10,932	△ 30	(注8)
教育研究経費	10,963	10,932	△ 30	
施設整備費	247	421	173	(注9)
補助金等	351	237	△ 114	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,016	1,028	12	(注11)
長期借入金償還金	20	20	△ 0	
計	12,598	12,639	41	
収入-支出	-	1,630	1,630	

※決算報告書の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階での見込みより前年度以前の繰越額の支出が増額したこと及び予算段階では予定していなかった追加配分により、予算額に比して決算額が164百万円の増となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった前期からの繰越事由及び追加配分により、予算額に比して決算額が173百万円の増となっています。
- (注3) 補助金等収入については、補助金の受入が見込みより増額したことにより、予算額に比して決算額が157百万円の増となっています。
なお、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が272百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階での見込みより授業料及び検定料収入が減額したことにより、予算額に比して決算額が44百万円の減となっています。
- (注5) 雑収入については、予算段階では予定していなかった受取保険金収入があった一方、予算段階での見込みより財産貸付料収入や講習料収入が減額したことにより、予算額に比して決算額が25百万円の増となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の受入が見込みより増額したこと及び決算額に前年度以前の繰越額1,061百万円を含んでいること等により、予算額に比して決算額が1,162百万円の増となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、当初計画を変更したことにより、予算額に比して決算額が32百万円の増となっています。
- (注8) 業務費については、予算段階での見込みよりも人件費が減額したこと等により、予算額に比して決算額が30百万円の減となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が173百万円の減となっています。
- (注10) 補助金等については、補助金の受入が見込みより増額した一方、予算段階では支出に計上していた授業料等減免費交付金を計上しない取扱いにより、予算額に比して決算額が114百万円の減となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金の支出が見込みより増額したこと等により、予算額に比して決算額が12百万円の増となっています。

○損益計算書との集計区分の相違について

業務費の教育研究経費には、損益計算書の教育経費、研究経費、教育研究支援経費、役員人件費、教員人件費、職員人件費及び一般管理費が含まれ、寄附金、施設整備費、補助金等を財源とする費用は含まれていません。